

# 桜野校区まちづくり計画

いとしま共創プランin さくらの

( 改 訂 版 )



平成31年2月

桜野校区振興協議会

桜野校区まちづくり委員会

## 目 次

1. 計画（改訂版）の位置づけと役割・・・・・・・・・・	2
(1) はじめに	
【いとしま共創プラン in 桜野】とは・・	
(2) 計画の期間	
2. 現在の校区の現状・・・・・・・・・・	4
(1) 当初の計画と現状	
3. 校区の課題・・・・・・・・・・	5
(1) 課題の整理	
4. 校区の目指す将来像・・・・・・・・・・	6
5. 基本方針・・・・・・・・・・	7
6. 具体的な取り組み・・・・・・・・・・	8
(1) みんなが健康で安全・安心のまちづくり	
(2) 自然を大切にし、環境にやさしいまちづくり	
(3) 子どもが健やかに育つまちづくり	
(4) ふれあいを大切に育むまちづくり	
(5) 福岡マラソン応援のまちづくり	
7. 実施体制・・・・・・・・・・	11
8. 資料・・・・・・・・・・	12

## 1. 計画の位置づけと役割

### (1) はじめに

#### 【いとしま共創プラン in 桜野】

平成22年1月1日に1市2町が合併し、糸島市が誕生しました。

地域のことは地域のことを最も把握している地域住民が参画し、課題を解決していく「地域主権」の考え方を実践していくことが求められました。

そのため、糸島市では校区ごとにまちづくり組織を設置し、住民自らの参画でまちづくり計画（いとしま共創プラン）を策定して地域特性を生かした課題解決型のまちづくりを新市の重点プロジェクトの一つに位置づけています。

平成22年度に策定した「桜野校区まちづくりプラン」は、9年前の状況の下で策定し、前期・中期・後期と共創プランを計画し、実施してきましたが、経年変化と共に、周囲の情勢や環境の変化があり、現状に即した共創プランに計画を変更し、皆さんとともに積極的に活動を進めていきたいと考えます。

平成31年2月

桜野校区振興協議会

桜野校区まちづくり委員会

## (2) 計画の期間

計画期間は、概ね3年間としますが、周囲の環境の変化の速度が速くなり、3年毎の見直しが必要であり、より良いまちづくりに向け、単年度ごとの見直しを行っていきます。



## 2. 校区の現状

桜野校区は、地理的条件は変化ありませんが、ここ数年はメディアの影響などで、市外からの観光客が多数訪れ、それに伴い、自然環境の変化や交通事故等が増加傾向にあります。また、交通インフラも進み、バスの営業所の設置やバスのルート変更、九州大学の全学部移転などが加速し、外部からの若い人たちが来るようになりましたが、上下水道や生活インフラが伴っていません。

■桜野校区の人口と世帯数（平成22年3月31日 単位：人、%）

行政区	平成22年3月		平成30年12月		増減	
	人口	世帯	人口	世帯	人口増減	世帯増減
桜井東	580	176	506	186	▲74	+10
川上	429	142	412	156	▲17	+14
大町	418	145	357	145	▲61	±0
久米	327	91	316	103	▲11	+12
松井	50	22	49	23	▲1	+1
本村	398	143	381	163	▲17	+20
野北浜	426	153	324	146	▲102	▲7
間少路	197	58	174	70	▲23	+12
桜野校区全体	2,825	930	2519	992	▲306	+62
糸島市全体	100,551	36,432	101,643	42,194	+1,092	+5762

上記統計表より9年前と比較し

- ①人口は減少となっている
- ②逆に世帯数は増加している。

このことより、高齢者の死亡が多く、若い世代の定着が進んでいるのではないだろうか？

いわゆる、「志摩・桜野」地域に住むという一種のステイタスブランドになっていると想定される。

### 3. 校区の課題

#### 【9年前の課題】

- ①少子高齢化が急速に進んでいる
- ②交通の便が悪い
- ③生活に必要な店舗がない
- ④高齢者や女性の組織加入率が低下している
- ⑤九大に隣接しているが、交流が少ない
- ⑥基幹産業である農漁業に、後継者が少ない
- ⑦近くに働く場所が少ない
- ⑧上下水道等のインフラ整備が遅れている
- ⑨公園や公共施設が少ない

#### 【現在の課題】

- ①少子高齢化  
現状も変わらない状況
- ②交通の便が悪い  
バス路線の延長化に期待
- ③生活に必要な店舗がない  
コンビニエンスストアの撤退などがあるものの カフェやレストランは増加した  
移動販売車が地区を巡回しているが、普段の買い物には自家用車が必須となっている。
- ④高齢者や女性の組織加入率が低下は横ばい状態  
シニアクラブの加入は横ばい状態
- ⑤九大との交流  
九大の寮が出来たり、校区事業などで交流が保たれている。
- ⑥基幹産業の1次産業の後継者が少ない。  
花卉園芸作物や「糸島野菜」などの出荷は増加傾向にあり、若い方の就農は多い。
- ⑦就業する場所が無い  
大きな企業もないので、福岡市内への通勤で九大から学研都市方向へは車の  
通行量が増加している。
- ⑧上下水道の生活インフラの整備  
移住希望の若い世代が最初に問題化するのが生活インフラ。
- ⑨公園や公共施設が少ない。

## 4. 校区の目指す将来像

校区の目指す将来像は踏襲します。  
スローガン

人も自然も元気できれいな住みたくなるまちさくらの

### ■桜野校区の将来イメージ

癒しとゆとりが感じられるさくらの

みんなが健康で安心安全なさくらの

助け合い支えあいのあるさくらの

ふれあいを大切にするさくらの

海の幸・山の幸を育むさくらの

故郷として戻ってきたくなるようなさくらの



## 5. 基本方針（改訂版）

- 1、**みんなが健康で安全・安心のまちづくり（健康、安全・安心事業）**　　《継続》  
みんなが心も身体も健康で、安全に安心して暮らせることが何よりも大切です。犯罪や災害のない地域を目指します。  
特に、児童の見守りや高齢者の見守りについて、青パト導入後は行政区やPTAの方々が積極的に青パト巡回を行い、交通事故や犯罪抑止に効果を上げていますので、継続します。また、防災にも積極的に取り組み、気象予報士の方からの防災講演会、朝倉地方の災害地視察を行いました。この防災関連事業は継続して行い、校区全体の防災訓練や防災グッズの習熟なども合わせて行います。
- 2、**自然を大切にし、環境にやさしいまちづくり（環境保全事業）**　　《継続》  
桜野校区の海、山、川は、後世に引き継がなければならない大切な宝であり、この豊かな自然をみんなの力で維持、保全に努めます。  
花いっぱい運動や校区の河川堰堤の環境整備なども継続して行います。
- 3、**子どもが健やかに育つまちづくり（青少年育成事業）**　　《継続》  
学校、地域、家庭が連携し、学力の向上や子どもたちが健やかに育つ環境づくりを進め、将来の担い手になる人材を育てていきます。長年の伝統的な活動を実施している「通学合宿」についても行政区子ども会を中心に実施し、校区全体で子どもの育成に取り組みます。
- 4、**ふれあいを大切に育むまちづくり（文化・交流事業）**　　《継続》  
桜野校区の誇れることとして、近所づきあいや助け合いなど、人情味豊かなところなので、今後も地域コミュニティ活動を大切にしまちづくりを推進します。また、文化、芸術、伝統行事等を大切に守り伝えていくとともに、九州大学等との交流も図っていきます。  
校区の大きな事業として①文化祭 ②異文化交流餅つき大会 ③校区芸能・のど自慢大会 この3本を中心とした事業を展開します。
- 5、**地域資源を生かしたまちづくり（産業振興事業）**　　《廃止》  
二見ヶ浦、桜井神社、サンセットロードといった観光名所はメディアによる情報発信で急速に伸びており、桜野校区全体としては産業振興事業に代わる事業を立ち上げ、校区住民のまちづくりのきっかけを作ります。
- 6、**福岡マラソン応援のまちづくり（校区事業充実化事業）**　　《新規》  
産業振興事業を廃止し、代わりに福岡マラソン応援事業を立ち上げます。校区の中心部がマラソンコースになる事から1ヶ月以上も前に花植えや環境整備を行い、校区住民が積極的に関わる事業として特化した応援のための事業を行います。



## 6. 具体的な取り組み（改訂版）

基本方針の項目ごとに3カ年計画（事業計画）

### 1、みんなが健康で安全・安心のまちづくり（健康、安全・安心事業）

No	取 組 一 覧	前期	中期	後期
1	地域見守り活動 青色パトロールカー巡回活動	→		
2	地域防災活動の充実	→		

### 2、自然を大切に、環境にやさしいまちづくり（環境保全事業）

No	取 組 一 覧	前期	中期	後期
1	花いっぱい運動	→		
2	環境美化運動 通学路・河川堰堤	→		

3、子どもが健やかに育つまちづくり（青少年育成事業）

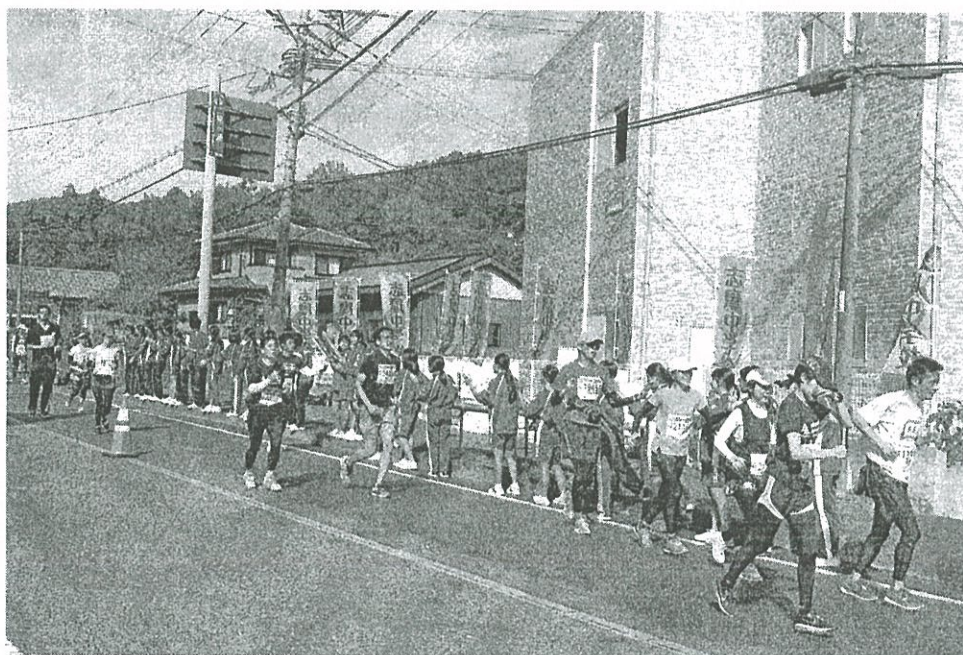
No	取 組 一 覧	前期	中期	後期
1	通学合宿・青少年育成事業	→		

4、ふれあいを大切に育むまちづくり（文化・交流事業）

No	取 組 一 覧	前期	中期	後期
1	文化芸能祭事業	→		
2	異文化交流事業	→		

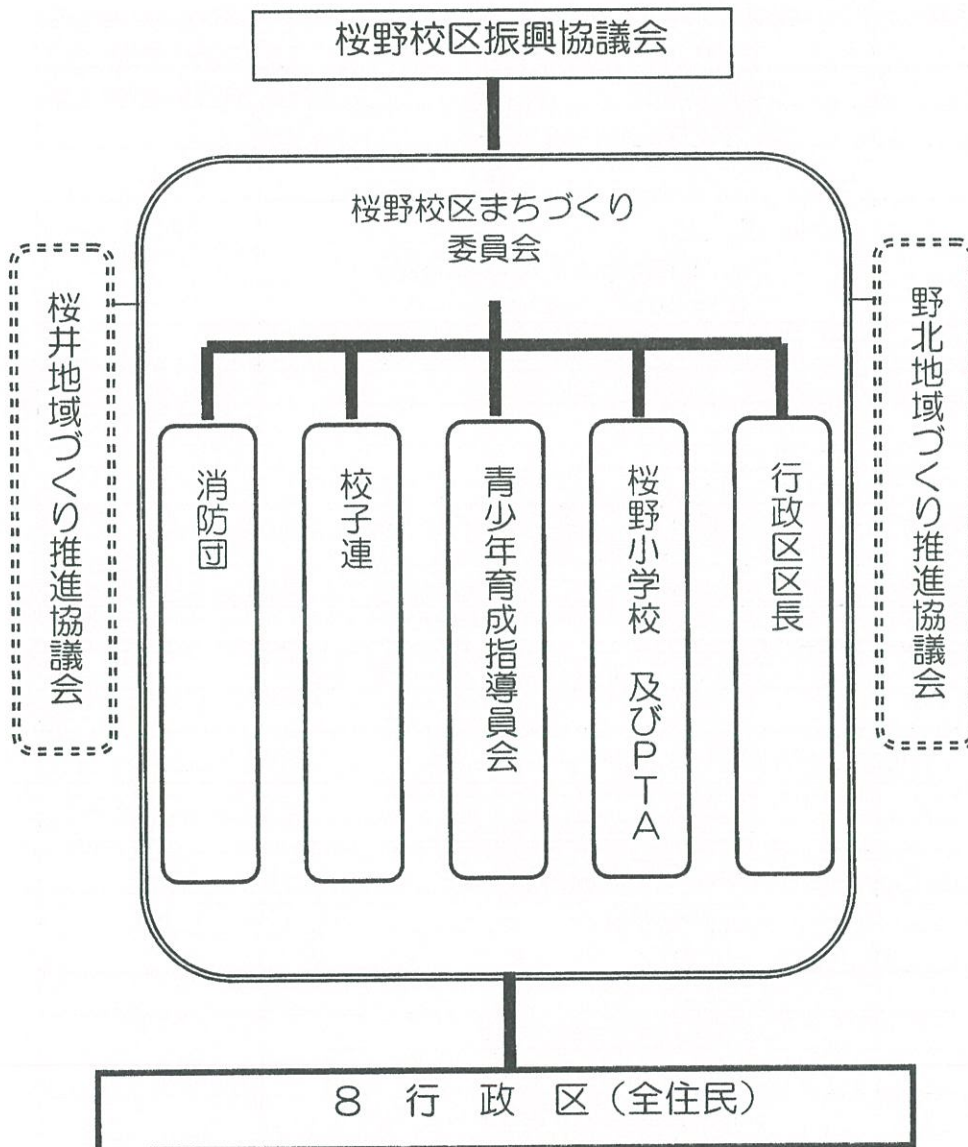
5、福岡マラソン応援のまちづくり

No	取組一覧	前期	中期	後期
1	福岡マラソン応援事業	➔		



## 7. 実施体制

10年後の校区の将来像（目標）実現のため、桜野校区地域振興協議会を中心に各種団体が連携を取りながら、校区全体のスケジュールに沿って計画的に事業を実施します。実施後は事業を評価し、次年度の事業計画に生かします。従来の各委員会によるまちづくり事業を展開し、まちづくり事業を推進しました。平成30年度より課題解決を全体で行い、また共通の問題意識などの情報化共有を積極的に行い、組織をコンパクトにまとめて新体制で実施します。



平成30年度 いとしま共創プラン 校区まちづくり事業報告

1	安全・安心・事業	3	校区事業充実化事業
		4	青少年育成事業
2	環境整備事業	5	文化芸能祭事業

参考資料

■収入

事業No.	事業名	市補助金	校区負担金	総事業費	備考
1	安全安心事業	196,000	21,955	217,955	校区負担 事業費×10%
2	環境整備事業	103,000	11,880	114,880	校区負担 事業費×10%
3	校区事業充実化事業	123,000	14,035	137,035	校区負担 事業費×10%
4	青少年育成事業	89,000	10,851	99,851	校区負担 事業費×10%
5	文化芸能祭事業	489,000	54,503	543,503	校区負担 事業費×10%
合 計		1,000,000	113,224	1,113,224	

■支出

事業No.	科 目	金 額	摘 要	備 考
1	災害地現地視察	121,115	朝倉地方災害地視察研修会	
	需用費	57,240	見守りマグネットシート	
	需用費	29,600	LED屋外投光器	
	需用費	10,000	用紙インク代	
	小計	217,955		
2	備品購入費	48,500	動力噴霧器	
	需用費	66,380	除草剤・チップソー	
	小計	114,880		
3	需用費	137,035	屋外用長尺プリンター用紙・インク	
	小計	137,035		
4	需用費	50,030	パーティション、掲示板	
	需用費	33,621	ガス炊飯器、食器類	
	需用費	10,000	用紙インク代	
	役務費	6,200	ハガキ代	
	小計	99,851		
5	備品購入費	60,594	ステージ用スカート	
	備品購入費	248,400	イス・収納台車	
	備品購入費	104,279	ビデオカメラ、スクリーン	
	需用費	46,713	三脚、LEDライト、TV中継器	
	需用費	16,177	音響用ケーブル	
	需用費	52,940	用紙インク他	
	役務費	14,400	切手・ハガキ代	
	小計	543,503		
合 計		1,113,224		

## (参考) いとしま共創プラン 年度別事業費一覧

参考資料

年度	事業名	事業費	市補助金	校区負担金	摘要
H22	まちづくり計画策定	115,366	100,000	15,366	視察等
	施設整備等事業	1,365,800	1,297,000	68,800	青バト購入費用
H23	実践活動(安全安心)	487,168	438,000	49,168	立て看板等
	実践活動(青少年育成)	280,000	252,000	28,000	辞書購入費等
	実践活動(文化交流)	572,923	500,000	72,923	音響機材・石窯費用
H24	施設整備等事業	1,133,000	1,076,000	57,000	防災倉庫・物品購入
	施設整備等事業	239,085	227,000	12,085	青バト車庫設置
	実践活動(環境保全)	552,209	496,000	56,209	彼岸花植栽等
H25	施設整備等事業	507,255	475,000	32,255	大判プリンター
	施設整備等事業	1,604,210	1,523,000	81,210	梅林プロジェクト
	実践活動(文化祭)	387,782	347,000	40,782	プロジェクター
	実践活動(健康・福祉)	331,905	297,000	34,905	運動器具等
H26	災害避難所演習(安全安心)	175,200	157,000	18,200	防災グッズ等
	ビザ窯達人大作戦(文化交流)	130,024	117,000	13,024	ビザ窯屋根等
	芸能祭拡充(文化交流)	290,560	261,000	29,560	音響機材等
	「梅林憩いの場」整備事業(環境保全)	517,000	465,000	52,000	駐車場整備等
H27	地域見守り活動事業	90,696	81,000	9,696	ドライブレコーダー他
	交通安全標語看板設置事業	157,400	141,000	16,400	安全安心看板設置
	「梅林憩いの場」整備事業	320,000	288,000	32,000	避難階段、看板設置
	花いっぱい運動推進事業	157,915	142,000	15,915	八重桜、芝桜苗
	通学合宿推進事業	53,200	47,000	6,200	けん玉、ハーブサート一式
	異文化交流餅つき大会 消火器購入	24,840	22,000	2,840	消火器
	芸能祭拡充	210,710	189,000	21,710	提灯、照明他
	文化祭拡充	70,384	63,000	7,384	台車、踏み台他
H28	地域見守り活動事業	382,320	344,000	38,320	看板・110番プレート
	地域防災活動の充実事業	66,850	60,000	6,850	ヘルメット・シャベル
	花いっぱい運動事業	93,363	84,000	9,363	芝桜・つつじ苗他
	通学合宿推進事業	106,828	96,000	10,828	釜・フードプロセッサ他
	桜野校区文化・芸能祭拡充事業	441,271	397,000	44,271	音響スピーカー・テレビ他
H29	安全・安心まちづくり事業	108,911	98,000	10,911	避難所看板・講演会
	花いっぱい運動事業	97,200	87,000	10,200	散水設備設置
	福岡マラソン応援事業	120,420	108,000	12,420	長尺プリンター用紙・インク
	通学合宿の推進事業	82,451	74,000	8,451	キーパー・パーティション他
H30	安全安心事業	217,955	196,000	21,955	災害地視察・マクネットシート
	環境整備事業	114,880	103,000	11,880	動噴・除草剤等
	校区事業充実化事業	137,035	123,000	14,035	長尺プリンター用紙・インク
	青少年育成事業	99,851	89,000	10,851	ボード・炊飯器等
	文化・芸能祭事業	543,503	489,000	54,503	イス・台車・他
合計		12,387,470	11,349,000	1,038,470	

1. みんなが健康で安全・安心のまちづくり(健康、安全・安心事業)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	当初の取り組み一覧	年度	前期 平成22年～24年	年度	中期 平成25年～27年	年度	後期 平成28年～30年	達成度(案)	事業継続・終了(案)	備考
1	あいさつ運動		市同協桜野支部 活動の中に包含		市同協桜野支部 活動の中に包含		市同協桜野支部 活動の中に包含	市同協あいさつ 運動で実施	終了	市同協桜野支部の接携運 動に包含されているため
		H22	青パト購入	H27	ドライブレコーダ	H28	110番プレート他			
		H23	立て看板設置	H27	交通安全看板	H30	マグネットシート	十分できた	事業継続 (地域見守り活動へ 事業名変更)	青パト従事者講習会等で 青パト運行の機運が高 まっており、地域全体で防 犯活動・見守り活動を推進 する
2	地域見守り活動 青色パトローラーカー導入	H24	青パト車庫設置							
3	1人暮らしの高齢者 声かけ運動		民生委員・福祉 委員の活動に包		民生委員・福祉 委員の活動に包			民生委員・福祉 委員の活動で実 施	終了	民生委員・福祉委員の活 動に包含されるため
4	健康づくり事業			H25	運動器具等購入			あまり 出来なかった	終了	購入した器具類の利用者 も少ない
5	地域防災活動 組織の確立			H26	防災グッズ購入	H28	ヘルメット等購入			
				H26	災害避難所演習	H28	注意喚起横幕枠の設 置			
						H29	避難所看板			
						H29	防災講演会			
						H30	災害地視察			
						H30	防水・屋外型照明購入			

2. 自然を大切に、環境にやさしいまちづくり(環境保全事業)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	取り組み一覧	前期 平成22年～24年		中期 平成25年～27年		後期 平成28年～30年		達成度(案)	事業継続・終了(案)	備考
		年度	平成22年～24年	年度	平成25年～27年	年度	平成28年～30年			
1	花いっぱい運動	H24	彼岸花等植栽	H25	梅林プロジェクト スタート	H28	芝桜・ツツジ植栽	十分出来た	事業継続	中期3ヶ年計画で「梅林プロジェクト」を計画し、実施した。また、小学校を中心とした植栽を行った。今後は地域の要所所に花いっぱい運動を展開する
		H26		H26	梅林プロジェクト 駐車場整備	H29	散水設備設置			
		H27		H27	梅林プロジェクト 階段設置					
		H27		H27	八重桜・芝桜植栽					
2	河川・海岸環境美化運動							桜井地区・野北地区で個別に実施	終了 環境美化に包含	河川・海岸の環境整備よりも桜井川やマラソンコースの環境美化に特化した
3	通学路の環境美化運動 (通学路の草刈)					H28	草刈り機替刃購入	まあまあ出来た	事業継続 (環境整備事業)	通学路だけでなく河川の堰堤も含めた地域全体の環境美化運動にシフトする
						H28	除草剤購入			
						H30	動力噴霧器・除草剤等			



3. 子どもが健やかに育つまちづくり(青少年育成事業)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	取り組み一覧	前期 平成22年～24年			中期 平成25年～27年			後期 平成28年～30年			達成度(案)	事業継続・終了(案)	備考
		年度	前期 平成22年～24年	年度	中期 平成25年～27年	年度	後期 平成28年～30年	年度	後期 平成28年～30年				
1	通学合宿・キャンプ活動	H27		H27	通学合宿 遊具等購入	H28	炊飯釜・他購入			まあまあ出来た	事業継続 通学合宿事業として 継続する	通学合宿事業は 継続するが、キャン プ活動については、キヤ ンプ活動については、実 績もないので、削除し 通学合宿事業1本とす る	
						H29	パーテーション等購 入						
						H30	メッセージボード等 の購入						
2	小学校登下校の見守り隊 活動									青パト巡回活動で 実施した	事業終了 青パト巡回活動に 包含する	安全・安心見守り 活動に包含され るため、次年度か らは安全・安心ま ちづくり事業に統 合	
3	子ども会・育成会への 支援活動	H23								校区全体での事業 としては全くな かった	事業終了	校子連・青少年 育成活動は各々 の団体が独自に 活動し、校区全体 での活動はあま りなかった	
4	九州大学との交流事業									全くできなかった 異文化交流事業へ 統合	事業終了	異文化交流餅つ き事業などの文 化交流事業へ統 合	

4. ふれあいを大切に育むまちづくり(文化・交流事業)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	取り組み一覧	前期 平成22年～24年		中期 平成25年～27年		後期 平成28年～30年		達成度(案)	事業継続・終了(案)	備考
		年度	内容	年度	内容	年度	内容			
1	世代間異文化交流事業	H23	音響機材購入	H25	大判プリンター購入	H28	モニターTV購入	十分出来た	事業継続 但し事業名は文化交流事業と変更	文化祭・異文化交流餅つき大会・芸能の自慢大会などの校区事業は地域全体の活性化のために継続する
		H23	石窯設置	H25	プロジェクト他	H30	大判プリンター用紙 他			
				H26	石窯屋根整備	H30	イス・台車購入			
				H26	音響機材追加					
				H27	消火器購入					
2	校区体育行事							全く出来なかった	事業終了	多世代の運動会などの計画も上がっていないので一旦凍結する
3	伝統芸能継承活動			H27	提灯・照明購入		文化交流事業へ統合(異文化交流事業)	あまり出来なかった 文化交流事業へ統合	事業終了	次年度からは文化交流事業に包含し多方面からの文化事業に展開する
				H27	台車等購入					
4	九州大学との交流事業		文化交流事業へ統合(異文化交流事業)		文化交流事業へ統合(異文化交流事業)		文化交流事業へ統合(異文化交流事業)	あまり出来なかった (異文化交流事業へ統合)	事業終了	次年度から異文化交流餅つき事業や文化交流事業に包含した事業に展開する
5										

5. 地域資源を生かしたまちづくり(産業振興事業)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	取り組み一覧	年度	前期 平成22年～24年	年度	中期 平成25年～27年	年度	後期 平成28年～30年	達成度(案)	事業継続・終了(案)	備考
		年度	年度	年度	年度	年度	年度			
1	産業振興研究グループの 設立					H28	福岡マラソン応援 事業	全く出来なかった	事業終了	福岡マラソン応援 事業は別の事業 名で継続する

# 事業見直し及び課題(案)

別紙資料1 (達成度・終了・継続)

No.	事業名	取り組み一覧	年度	前期 平成31年～33年	年度	中期	年度	後期	備考
1	安全・安心事業	地域見守り活動	31	青バト巡回 他				↑	平成22年度より継続事業
		地域防災活動組織の確立	31	地域避難訓練 等				↑	
2	環境保全事業	花いっぱい運動	31	地域の環境整備に 統合				↑	平成23年度より継続事業
		環境整備事業	31	通学路・河川堰堤など 含めた総合整備				↑	
3	青少年育成事業	通学合宿事業	31	通学合宿事業				↑	平成23年度より継続事業
4	文化交流事業	文化芸能祭事業	31	文化祭事業				↑	平成23年度より継続事業
			31	異文化交流餅つき 事業				↑	
			31	芸能・のど自慢事業				↑	
5	校区事業充実化事業	福岡マラソン応援事業	31	福岡マラソン応援事 業				↑	産業振興事業を見直し、新規事業として校区事業として 特化する。